

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年3月12日(2020.3.12)

【公開番号】特開2019-208930(P2019-208930A)

【公開日】令和1年12月12日(2019.12.12)

【年通号数】公開・登録公報2019-050

【出願番号】特願2018-108223(P2018-108223)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【 F I 】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年1月30日(2020.1.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者にとって有利な有利期間に対応した制御を実行可能な遊技機であって、

遊技価値を付与する遊技価値付与手段と、

演出を実行可能な演出実行手段と、

前記遊技価値付与手段によって付与された遊技価値を集計可能な遊技価値集計手段と、

前記遊技価値集計手段により集計された集計値を表示可能な集計値表示手段と、

を備え、

前記有利期間は、特定期間と、前記特定期間と繋がる期間であって前記特定期間とは遊技者にとっての有利度合いが異なり遊技者にとって有利な特定報知演出が実行される所定期間と、前記特定期間及び前記所定期間とは遊技者にとっての有利度が異なる特別期間と、を含み、

前記遊技価値集計手段は、前記有利期間において前記遊技価値付与手段により付与された遊技価値の集計値である第1集計値を集計可能であるとともに、前記特定期間と前記所定期間の期間中において前記遊技価値付与手段により付与された遊技価値の集計値である第2集計値を集計可能であり、

前記集計値表示手段は、前記第1集計値と前記第2集計値とを表示可能であり、

さらに、

可変表示に関する情報を保留情報として記憶可能な保留記憶手段と、

電力供給の開始に伴い、設定値の設定を許可するための設定許可状態と、設定された設定値を確認するための設定確認状態と、に制御可能な設定制御手段と、

設定された設定値に応じた確率により有利状態に制御可能な遊技制御手段と、

遊技の進行に応じて動作可能な可動部材と、

少なくとも、前記可動部材を原点位置に復帰させる復帰動作の制御を実行可能な可動制御手段と、

前記設定許可状態であることと前記設定確認状態であることを、共通の出力量により報知可能な報知手段と、を備え、

前記可動制御手段は、

電力供給が開始されたが前記設定許可状態に制御されないときに、前記復帰動作の制御を実行可能であり、

電力供給が開始されるとともに前記設定許可状態に制御されたときに、前記復帰動作の制御を実行せず、

前記設定許可状態に対応して前記保留情報を含む情報が初期化される一方で、前記設定確認状態に対応して前記保留情報を含む情報が初期化されない、  
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

前記課題を解決するために、本発明の手段 A の遊技機は、  
遊技者にとって有利な有利期間に対応した制御を実行可能な遊技機であって、  
遊技価値を付与する遊技価値付与手段と、  
演出を実行可能な演出実行手段と、  
前記遊技価値付与手段によって付与された遊技価値を集計可能な遊技価値集計手段と、  
前記遊技価値集計手段により集計された集計値を表示可能な集計値表示手段と、  
を備え、

前記有利期間は、特定期間と、前記特定期間と繋がる期間であって前記特定期間とは遊技者にとっての有利度合いが異なり遊技者にとって有利な特定報知演出が実行される所定期間と、前記特定期間及び前記所定期間とは遊技者にとっての有利度が異なる特別期間と、  
を含み、

前記遊技価値集計手段は、前記有利期間において前記遊技価値付与手段により付与された遊技価値の集計値である第 1 集計値を集計可能であるとともに、前記特定期間と前記所定期間の期間中において前記遊技価値付与手段により付与された遊技価値の集計値である第 2 集計値を集計可能であり、

前記集計値表示手段は、前記第 1 集計値と前記第 2 集計値とを表示可能であり、  
さらに、

可変表示に関する情報を保留情報として記憶可能な保留記憶手段と、  
電力供給の開始に伴い、設定値の設定を許可するための設定許可状態と、設定された設定値を確認するための設定確認状態と、に制御可能な設定制御手段と、  
設定された設定値に応じた確率により有利状態に制御可能な遊技制御手段と、  
遊技の進行に応じて動作可能な可動部材と、  
少なくとも、前記可動部材を原点位置に復帰させる復帰動作の制御を実行可能な可動制御手段と、

前記設定許可状態であることと前記設定確認状態であることを、共通の出力量により報知可能な報知手段と、を備え、

前記可動制御手段は、

電力供給が開始されたが前記設定許可状態に制御されないときに、前記復帰動作の制御を実行可能であり、

電力供給が開始されるとともに前記設定許可状態に制御されたときに、前記復帰動作の制御を実行せず、

前記設定許可状態に対応して前記保留情報を含む情報が初期化される一方で、前記設定確認状態に対応して前記保留情報を含む情報が初期化されない、  
ことを特徴とする。

また、本発明の手段 1 の遊技機は、

遊技者にとって有利な有利期間（例えば、大当り遊技状態、低確高ベース状態、スペシャルゾーンを含む高確高ベース状態、小当り遊技状態）に対応した制御を実行可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機 1）であって、

遊技価値（例えば、賞球）を付与する遊技価値付与手段（例えば、CPU103 が賞球

処理を実行する部分)と、

演出を実行可能な演出実行手段(例えば、演出制御用CPU120が演出制御プロセス処理を実行する部分)と、

前記遊技価値付与手段によって付与された遊技価値を集計可能な遊技価値集計手段(例えば、演出制御用CPU120が図8-17に示す賞球数表示処理の113SGS308や113SGS319の処理を実行する部分)と、

前記遊技価値集計手段により集計された集計値を表示可能な集計値表示手段(例えば、演出制御用CPU120が図8-17に示す賞球数表示処理の113SGS309や113SGS320の処理を実行する部分)と、

を備え、

前記有利期間は、特定期間(例えば、大当り遊技状態)と、前記特定期間と繋がる期間であって前記特定期間とは遊技者にとっての有利度合いが異なり遊技者にとって有利な特定報知演出が実行される所定期間(例えば、スペシャルゾーンを含む高確高ベース状態)と、前記特定期間及び前記所定期間とは遊技者にとっての有利度が異なる特別期間(例えば、低確高ベース状態)と、を含み、

前記遊技価値集計手段は、前記有利期間において前記遊技価値付与手段により付与された遊技価値の集計値である第1集計値(例えば、連荘中に払い出された全ての賞球数の値)を集計可能であるとともに、前記特定期間と前記所定期間の期間中において前記遊技価値付与手段により付与された遊技価値の集計値である第2集計値(例えば、確変大当りAの大当り遊技中に払い出された賞球数とスペシャルゾーン中に払い出された賞球数)を集計可能であり、

前記集計値表示手段は、前記第1集計値と前記第2集計値とを表示可能であり(例えば、図8-23に示すように、連荘中に払い出された全ての賞球数の集計値である第1賞球数カウンタの値113SG005Aと確変大当りAの大当り遊技中に払い出された賞球数とスペシャルゾーン中に払い出された賞球数の集計値である第2賞球数カウンタの値113SG005Bとを画像表示装置5に表示可能な部分)、

さらに、

遊技者にとって有利な有利状態(例えば大当り遊技状態)に制御されることを示唆する示唆演出(例えばリーチ演出)を実行可能な示唆演出実行手段(例えば演出制御用CPU120)と、

前記示唆演出に対応したタイトルを報知可能なタイトル報知手段(例えば演出制御用CPU120)と、を備え、

前記タイトル報知手段は、前記示唆演出の開始から所定期間経過したときに当該示唆演出に対応したタイトルを報知可能である(例えば図10(D)、(F))

ことを特徴としている。

この特徴によれば、有利期間における集計値を適切に表示することができる。また、演出効果を高めることができる。